

<個別案件確認表（組織委員会）>

組織委員会担当確認年月日 2019年8月20日

東京都作業部会確認年月 2019年9月5日

事業名 オリンピックスタジアム TV スタジオ整備工事

案件名 オリンピックスタジアム TV スタジオ整備工事

確認の視点		組織委員会の見解	備考
経費の負担が平成29年5月31日の合意の考え方に基づくものであること		<ul style="list-style-type: none"> 本工事は、仮設等インフラ整備であり、都が経費を負担する理由がある。また、負担額については、平成29年5月31日の合意の考え方に基づくものである。 	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること		<ul style="list-style-type: none"> 大卒の合意において、経費分担に関わらず、オーバーレイ、仮設等のインフラの整備を実施する役割は組織委員会が担うこととなっている。 整備にあたり、組織委員会が会場状況を把握し、一元的な整備を進めることにより、OBS要件を反映した施設整備とコスト縮減が可能となる。 	
経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から妥当なものであること	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 開催都市契約大会運営要件で求められているTVスタジオの整備である。 本TVスタジオは世界各国のRHBが大会の映像を放送するための施設であり、大会運営に不可欠である。 	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> 施設規模等の設置要件はOBS要望に基づき、部屋数、面積、眺望などを考慮し、必要最小限の規模となっている。 積算に用いる単価等は、東京都、国基準に準じるとともに、現契約単価、刊行物及び見積りを採用している。 また、VNI担当が精査し積算内容を確認している。 	
	納得性	<ul style="list-style-type: none"> 仮設TVスタジオは組織委員会および東京等において類似施設はないため、比較は困難である。 本件の整備にあたり、OBSと規模・仕様の調整を図り、過大なものが無いようにしている。 	
その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること		<ul style="list-style-type: none"> 大卒の合意で公費負担とされた「都有施設における仮設等のインフラ整備」の一環として実施するものであり、公費負担の対象として適切である。 	

* 公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。